

盛岡署、岩手北部署の採材現地検討会に参加

令和8年10月2日(金)、岩手県盛岡市薮川の外山第一国有林内において盛岡署と岩手北部署合同による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は開会前に雨模様となったものの開会式が始まる頃には青空が広がり、市町村担当者、林業関係団体や林業事業体など74名の参加者を得て開催されました。

盛岡森林管理署長の挨拶後に講師等の紹介と事業箇所の概要説明があり、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の木材需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。次に岩手県森連から県内木材市況等について情報提供いただいた後、現地検討に移りました。



開会式の様子



5班に分かれて採材検討

今回はカラマツ4m丸太5本と広葉樹全幹材5本の供試木が準備され、材種区分や長級の判断について参加者が5班に分かれて検討し結果を発表。発表結果を岩手県森連担当者から解説していただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただき、有利採材・販売に向けての理解を深めることができました。

次に署担当者から桎積み方法について説明があり、最後は青森事務所から講評と労働安全等についてお話をいただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



各班の検討結果について解説



労働災害未然防止に向け指導